

同窓会だより

世界で活躍する 国際弁護士

夢に向けて

弁護士 浅香 龍吉(22期生)



私は真和に中学・高校合わせて七年間(留学期間含む)お世話になりました。中学時代はハンドボールに熱中し、高校に入ってから勉強の傍ら、友人達とジャズ・フュージョン音楽のバンドを結成し、音楽活動を楽しんでいました。それなりに勉強はしていた記憶はありますが、比較的のびのびと過ごした中学高

の経験が後々自分の進路に大きく影響するとは、当時十八歳だった私は想像もしていませんでした。

慶應大学卒業後は日本輸出銀行(現・国際協力銀行)に入行し、日本企業のプラント輸出および海外直接投資の支援、また外国政府向けの融資ならびに銀行全体の政策企画の仕事等を担当しました。

担当地域としてはインド、タイ、フィリピン等を受け付けている。特にインドには90年代後半に頻りに融資交渉で出張しました。フィリピンの首都マニラにも二〇〇四年から三年間駐在。また入行四年目に二年間、パリにある経済協力開発機構(OECD)貿易局へ出向。OECD加盟国の自国の輸出を支援する条約の交渉を取りまとめる輸出信用課で勤務しました。

欧州で生活して痛感したのは紛争解決の際の交渉方法の違いです。西洋社会では、利害関係が衝突する場合は、まず自分の求めるものをしっかりと主張しなければなりません。日本人のように「自分にも非があるのではないか」と思いうることは、相手と押し切られり方は、相手に押し切られてしまいます。一般論ですが、西洋社会では交渉の際に、まず自分の立場を正当化する主張を相手にぶつけ、様子を見ながら最終的に合意できるまでを探っていくという過程をとります。西洋社会では謝罪は責任を伴うので、簡単に自分の非を認めたりしますが、勿論、個人差はありますが、西洋で人が相手に謝るのは謝っても責任を問われないと直感的に判断できる範囲

にとどまると言って良いかと思いません。実はこのことは西洋だけでなく日本以外の多くの国にも当てはまるのではないかと考えています。

日本人は衝突を取らないし、謝りも責任を取られないことを前提としていないので、自分が悪くない場合でもその場の雰囲気や和らげるために取敢えず何でも謝つてしまいますが、相手が日本人と同じように最初から妥協を求めない場合は全て責任を押し付けられかねません。小さい頃から「言い訳をするな」「素直に謝れ」と言われて育った日本人には、自分と都合の良いことだけを主張し、相手に全ての責任を押し付けるのは相当に抵抗感があるかと思いますが、将来、海外と関係のある事に就くことを希望する人は、これが多くの外国では普通に行き起こるとだと認識しておくべきです。

「伝統の力」

真和中学・高等学校校育友会長

馬場 成志



進学、進級、誠にめでたうございます。今年は真和にとって創立五十周年という大きな節目の年です。このときに居合わせたことに感謝し、皆様とともに喜びの年にしていきたいと思います。

永年にわたり全国に誇る実績を積んできた真和です

が、これだけ名実ともに伝統校として歴史を刻むことになり。卒業してから感じることですが伝統の持つ力は意外に大きく、優秀でありながら歴史が浅かったことで苦労された話を創立間もない頃の卒業生の方から聞いたことがありますが、しかし今、生徒たちがどの道に進んだとしても自信を持って歩んでいけるようなイメージが湧いてきます。節目を迎えることで更に力強く伸びていくことが出来る生徒たちの行く末に期待

を膨らましておられます。改めてこれまで真和に関わっていただいた多くの皆様に感謝を申し上げます。

さて私たちが保護者に出来る事は限られていますが、五十年の記念事業をはじめ文化祭や競歩会など様々な行事がありますので積極的に参加して学校行事をサポートしていただきながら生徒達の様子を知っていただければ幸いです。思います。共通の話題も生れてきて家族の絆を深めることにもつながるのでないかと願っています。

またお話を通じて子供たちに社会や人生について話をしてほしいと思います。

井の中の蛙はいけません。が、逆にどうみても優秀なのに劣等感をもつことも、「大海を知らず」ということでは同じことです。学問は世間で強く生きていくために励むことだという当然のことを教え、強くおきな心を育てていくことは親の責任だと思っております。

これから新たな五十年に向けて現在の生徒たちが歴史を積み重ねていくことになり。はつらつとしたなかで更なる努力を重ねて、未来の後輩たちに大きな伝統を残していただくと願っています。

私は三十年代後半の年齢で銀行勤務を辞めて、オーストラリアのメルボルン大学法科大学院で法律を学び直すことになりました。前職で経験した国際金融の世界では、融資関係の契約書(平均一〇〇ページくらいあります)は全て英語、法律は英米法が基本でしたから、英米法系の国で法律

を勉強する必要性を感じていました。オーストラリアは英国法を基本としており、オーストラリア人弁護士は世界中で活躍しているのを知っている外国人弁護士は相当数がオーストラリア人です。

私の現在の勤務先は約八六〇人も弁護士がいる豪州で最も大きな法律事務所の一つです。豪州は資源国なので、私の仕事も鉄鉱石、石炭、液化天然ガス等の資源開発案件の資金調達に関する法的問題点について助言し、融資契約書や担保設定契約書を作成することが主な役割です。日本は豪州にとって最大の輸出市場、一方、豪州は日本経済に不可欠な資源の最大供給国として補完関係にあります。特に、日本の製鉄会社、総合商社、石油・電力・ガス会社のほとんどが豪州、オーストラリアから相当量の資源を購入していますので、(日本では)認識が高くないかもしれませんが、豪州は日本の産業界にとって死活的に重要な国なのです。もし語学研修や海外留学を考えている人がいたら、

豪州を候補として検討してみたい。どうか、より多くの日本人がこの二国間の重要性を認識してくれたらと思います。

最近、日本の若い世代は内向きになってきていると聞きますが、人口が減少傾向にある日本では後は大きな経済成長が国内で期待できないため、従来海外事業に縁がなかった日本企業も次々と海外に進出する時代になりつつあります。海外勤務を全く考えなかった人にも外国勤務の

的な歴史観を持つことが大事かと思えます。外国で生活する場合特に、自分の祖国である日本がどのような歴史の上に成り立っているのか理解しておくことは絶対必要です。これまでの自分自身の経験を踏まえてそう思います。在校生の方にとっては大受験が当面最大の課題だとは思いますが、これをきっかけに外国(特に豪州)と日本の関係についても興味を持ってくれるようになれば幸いです。

クラブ・同好会紹介

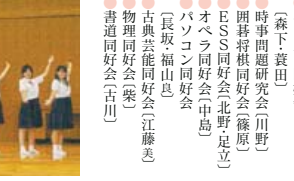
- 文化部
 - 宗教部(飛永)
 - 文芸部(北本)
 - 写真部(宮本悠)
 - コラス部
 - (高)善提(元田)
 - (中)(春日・林原(元田))
 - オークストラ部(長坂)
 - 演劇部(赤山)
 - 生物部(歌野)
 - 吹奏楽部(日野)



学園吹奏楽部 平成21年度 県吹奏楽コンクールAパートの部 金賞



生物部 平成20年度 九州生徒理科研究発表大会 優秀賞



写真部 平成19年度 全国総文祭コンテスト 第3位



オペラ研究会



女子新体操部

- 同好会
 - 化学同好会 (野田・元田 赤司)
 - イラスト同好会 (森下 真田)
 - 時事問題研究会(川野)
 - 開巻将棋同好会(篠原)
 - FES同好会(北野 足立)
 - パソコン同好会 (長坂 福山 邑)
 - 古典芸能同好会(江藤 美)
 - 物理同好会(吉川)
 - 書道同好会(古川)



サッカー部(高)



バスケットボール部



弓道部(高) 平成21年度 熊本市弓道大会女子個人 優勝

- 体育部
 - 軟式野球部 (國武・宮崎 坂口)
 - 空手部(小森)
 - サッカー部(松本)
 - ハンドボール部 (大村・吉里 坂本)
 - 女子新体操部(吉里)
 - 弓道部(松本 野田)
 - バスケットボール部(高) (長尾)
 - バスケットボール部(中)
 - (江藤 美)
 - テニス部(山口 田村 奥合 西野)
 - バドミントン部(緒方 溝口)
 - 陸上部(高本 工藤)
 - 卓球部(中尾 那須 影山)
 - 硬式野球部(桑田 徳尾)

- 生徒会長 齊藤 朱夏(117)
- 副会長 森崎 寿文(111)
- 代議員 橋本紗悠里(111)
- 村上 舞(111)
- 牧原 夏実(111)
- 内村 光伸(111)
- 山本 祐輝(111)
- 本田あかり(113)
- 田中 聡至(113)
- 山本 晃大(117)

創立50周年記念大同窓会

平成22年度真和・高等学校 大同窓会(杏葉会) 講演会・総会・懇親会開催。

日時:平成22年10月23日(土)18時 場所:熊本ホテルキャッスルにて